

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5
Tel 03-3201-0350 FAX 3201-0351
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

2019年
9月1日
第416号

JR東海労

http://jrroukairou.sakura.ne.jp/

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 木下 和樹
編集人 高山 浩

要求190項目提出!

2019年度基本協約・協定改訂交渉スタート

本部は8月8日、「2019年度基本協約・協定改訂に関する要求」(「申第3号」)を会社に提出しました。今年度の要求は、会社が2020年4月に実施するとして

「新しい人事・賃金制度等」の見直しに対する改善を含めた組合員の切実な声を反映させました。

2019年度第1四半期の決算で過去最高益を更新したにもかかわらず、会社は社員の切実な要求に耳を傾けません。労働条件改善や安全問題は一向に前進していないのが現実です。社員への苦勞の押し付けは、社員のやる気を損ない、将来の会社の土台を崩壊させる何物でもありません。

人事・賃金制度の改訂から13年、基準昇給額が最低額の100円となつて2年が経過しました。現行の人事・賃金制度は、会社の恣意的判断で社員の昇格が決められるために、社員間の競争を煽り、職場のチームワークを破壊し、安全を脅かす危険な制度です。賃金では、上位職には厚く、下位職には薄いベア配分

が行われています。要員問題を発端とする一方的な休日出勤や年休問題では、会社は一方的に解釈と主張を繰り返しています。そのような中、新人事

・賃金制度の見直しが提案されましたが、将来、社員が意欲を持つて安心して働ける制度とは程遠い提案です。今協約改訂交渉と併せて、改善は必須です。また、高齢者が

安心して働ける制度も必要です。会社は真摯に組合の要求、意見を受け止め、あらゆる問題の改善をはかるべきです。主な要求項目は、以下の通りです。

★65歳まで定期昇給を行うこと。調整手当及び扶養手当を支給すること。★50歳に達した全社員は、C1等級以上に昇格させること。C2等級以下にB年限を設けること。★祝日手当は現行通り支給すること。★新幹線の車掌乗り組みを各列車3名体制とすること。★「1時間前出勤」等の懲罰はやめること。★本来業務に支障をきたし年休抑制となるワンストップ活動を廃止すること。★年休を失効しない要員を確保すること。★全職場で前月10日までに翌月の休日指定予定日を公表し、前月25日9時まで翌月の勤務を確定し発表すること。★乗務員の在宅休養時間、泊行路の睡眠時間を確保すること。★勉強会、訓練会に要する移動時間を労働時間とすること。★区分「専任V」を撤廃すること。★リニア中央新幹線建設を中止すること。

さらなる組織拡大を目指すぞ! 「組織拡大実現!サマーキャンプ」開催



JR東海労は8月22~23日、山梨県西湖・観岳園キャンプ場で3名の組織拡大を全体で祝うため「組織拡大実現!サマーキャンプ」を開催しました。

組合員・家族・OBなど約100名、またJR東海労に加入した寄本さん、池田さんも参加しました。

各地本や参加者個人からは、祝儀をはじめ、お酒類、野菜、魚干もの、各種食料品など多くの差し入れがありました。

準備担当の静岡地本は、バーベキュー、焼きそば、おでんなどを用意しました。大懇親会では、新幹線関西地本が進行役となり、ビンゴゲーム、ビール早飲み競争や餅食い競争などの余興を行うなど、楽しい一夜を過ごしました。ビンゴゲームの景品には、多くの組合員からの提供がありました。

また、新たな仲間を迎え入れて、来年も楽しいキャンプを開催できるように、さらなる組織拡大を目指すことを参加者全員で確認しました。

【写真は2面にも掲載】

新たな組織で

組織強化・拡大を目指す！

大阪車両所分会結成大会開催

大阪車両所分会結成大会が8月25日、大阪・茨木市福祉文化会館で開催されました。大会には、車両所各分会の他、新幹線関西地本、大阪地区と



各大阪運輸所分会、本部、OBなど、約50名が参加しました。この結成大会は、仕業検査、修繕、交番検査、台車検査の各車両所分会を1つの分会として組織再編したものです。

湊結成準備委員長は、挨拶で「1991年にJR東海労を結成して28年が経過、会社の姿勢は変わっていない。私たちの姿勢も変わりはない。これまで様々な利益誘導を乗り越えてきた。会社のやりたいようにさせてこなかった。JR東海ユニ

オンの犯罪性は、会社の下支えをしていることである。専従をしたら助役になる。労働組合の役員が言うことを聞いたら出世させる会社。車両所でも組織拡大を目指す。

多田裁判は勝利的和解を勝ち取った。大谷川年休裁判の過程で、会社からボロが出た。この裁判は、働く者の権利を守り、全ての働く者を代表した闘いである。支援・協力をお願いする」と、訴えました。

本部下委員長、新幹線関西地本畑野委員長からの来賓挨拶のあと、特別報告として、新幹線関西サービックに出向している多田さんより裁判勝利について、大阪第二運輸所分会の山本さんと地本柳楽副委員長より決意

「私事欠勤」は不当、カット分賃金返還！ 多田裁判勝利！



大阪地方裁判所で係争していた多田裁判(本人訴訟)は8月2日、私事欠勤としていた多田さんの勤務処理を年休処理とし、賃金カット分を返還することで和解が成立しました。

多田さんは2017年1月21日、体調を崩し勤務終了後、体温を計ったところ高熱が出ていたため、管理者から「明日は

休んでいいですよ。病院に行ってください」と言われ、翌22日仕事を休みました。翌日、多田さんは体調が回復したので病院に行きませんでした。ところが、出向先会社である新幹線関西サービックは「病気で休んだという証明するものがない」とを理由に一方的に欠勤とし(年休扱いを拒否)、賃金カットを行ったのでした。多田さんは、この扱いを不当だとして2017年9月1日に提訴しました。それ以降2年半以上の闘いに、全面勝利で決着しました。

湖畔の避暑地でアウトドアライフ満喫 笑い絶えないゲームと余興 サマーキャンプ名場面集



静岡地本半場準備委員長



関村式



格別な一杯



料理名人衆



髪の毛の濃い人が有利？



餅を食うため顔は泡まみれ

パワハラを許さないぞ！ 水野さん行政訴訟提起

会社は、東京地区分会の水野良則さんが東京第二運輸所の車掌長の職務に就いていた時、乗客に対し「アカンベー」をした。

同僚の車掌を叱責した事を問題として、乗務から外し、日勤教育を行いました。しかし教育とは名ばかりでした。

表明がされました。運動方針(案)、2019年度予算(案)を採択後、以下の通り新役員を発表しました。
分会長・湊伸一／副分
正之

他の社員と接触できない部屋への隔離、管理者の意に沿うように何度も「報告書」等の書き直し、所長から「もう食えんな、今後どうするのか決めろ」などの暴言、事象とは全く関係のない私的事項への介入、出勤してもやることのないからと年休で休まされ、毎日職場に連絡をしろ(年休日に外出して咎められた)など、実質的自宅謹慎扱いにされるなど、パワハラ以外の何ものでもない行為により水野さんは精神的ダメージを受け、病

気休職に追い込まれたのです。水野さんは、労働基準監督署に「パワハラによる労働災害」申請を行いました。再審査でも認定されなかったため、裁判で事実を明らかにすることを決意し、8月21日、行政訴訟を提起しました。

JR東海労は、裁判勝利を目指すと共に、会社によるパワハラ行為の撲滅に向けて、水野さんと共に闘います。